

6月定例市議会開く

市政に対する 一般質問 ところが... 聞きたい



平成十九年六月定例市議会は、六月五日から六月二十一日までの十七日間の会期で行われました。

今定例会では、市長から平成十九年度一般会計補正予算など議案二件、議員からは、意見書一件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、今期定例会における市政に対する一般質問は、七人の議員によって二日間にわたり行われました。

財政運用と収納対策

蜂須 直巳議員

・質問 低金利の続く中、財政運用にも知恵と工夫が必要時代になっている。例えば現在、全国五十八の自治体で導入されているといわれる「仕組み預金」は利用可能か

また、当市の各種徴収率ラックは他市と比較して高い位置にはあるものの、年々、市税、国保税等の不納欠損額は増加傾向を示している。資産もあり、一定の生活をしている悪質といえる滞納者に対してはもう少し強い姿勢で臨むべきと考えるが、いかがか。

・答弁(会計管理者・総務部長)

「仕組み預金」とは、先物

外国為替取引やデリバティブ取引などが組み合わせられた預金商品で、高金利であることを売りにしている。今年一月末現在、全国の地方自治体で三県、五政令指定都市、五十市町村で総額、千五百七八億円が運用されている。

しかしこの預金は、金融機関による満期日の延長、為替レート変動に伴う外貨による償還等があるため、運用にあたっては高度な金融知識が必要になってくる。

当市は現状として、複数年にわたる運用を行う資金的余裕はないため、しばらくは研究対象とし、他の確実かつ有

利な資金運用を図り財源確保に努めてまいりたい。

次に収納対策に関しては文書による催告、各家庭を訪問する特別滞納整理、高額滞納者に対する不動産・預貯金の差押え、競売にかかる交付要求等を行うことで現在の収納率をあげている。平成十八年度は、不動産十件、預貯金十六件、出資金三件、確定申告の還付金五十六件、給与一件生命保険解約返戻金一件の差押えを実施した。

今後は、自動車など動産の差押え、県との連携による共同公売やインターネット公売を行い、一層の滞納整理強化を図るとともに、広報で滞納整理の状況を市民に公表したいと考えている。

その他の質問

・地域別防災訓練の成果と課題について



議会の詳細は市議会会議録をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年四回開催される定例会ごとに本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。なお詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会で発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

平成十九年六月定例会までの会議録は市議会図書室(市役所四階)、市立図書館、各地区公民館に備え付けてあります。

また、市議会会議録は、市のホームページでも閲覧できます。平成八年度以降の会議録がご覧になれますので、ぜひご利用ください。